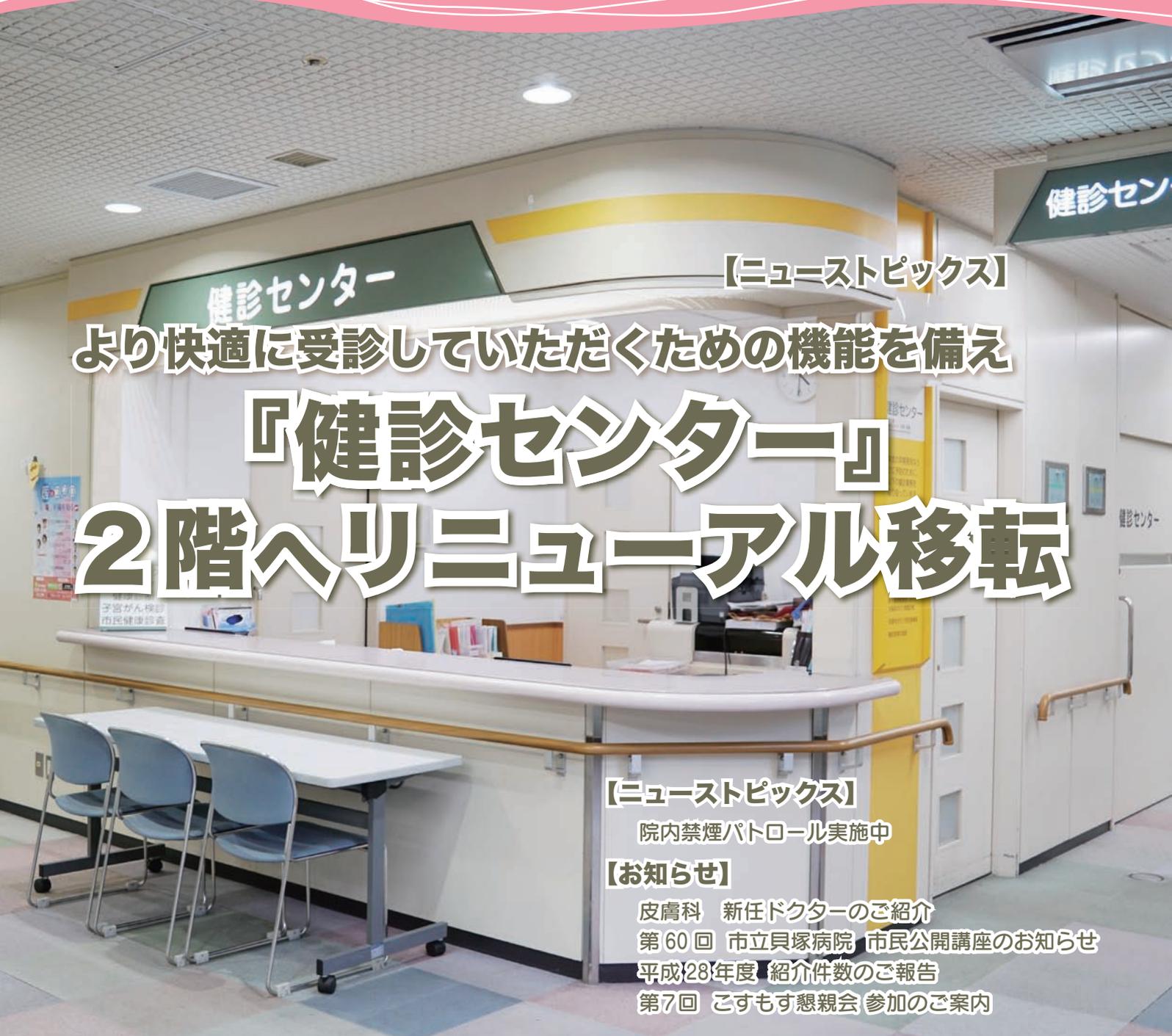




# コスモスだより



【ニューストピックス】

より快適に受診していただくための機能を備え

## 『健診センター』

# 2階へリニューアル移転

【ニューストピックス】

院内禁煙パトロール実施中

【お知らせ】

皮膚科 新任ドクターのご紹介  
第60回 市立貝塚病院 市民公開講座のお知らせ  
平成28年度 紹介件数のご報告  
第7回 こすもす懇親会 参加のご案内

## 病院の理念 基本方針

### 地域住民を守る良質な医療の提供

1. 医療を通じ患者さんの喜びが自らの喜びになるような職業人をめざします。
2. 常に技術の研鑽に努め、高度な医療の提供により、病気の早期発見・治療の充実をめざします。
3. 患者さんの治療には、各々の職務を結集したチーム医療をめざします。
4. 地域の医療機関と連携を密にし、信頼される中核病院として急性期医療をめざします。

健診センター

より快適に受診していただくための機能を備え

# 『健診センター』2階へリニューアル移転

「健診センター」はこれまで、新たなスペースの確保と改装が完了するまでの一時措置として、1階にカウンターを設け健康診断や人間ドックの受付としてのみ機能していました。今年1月、本来の機能を持つ「健診センター」が遂に完成！これまでご不便をおかけしていましたが、新しいセンターは「とてもキレイで使いやすくなった」とお声をいただいています。



## ■ 健診センターの機能充実で院内での移動が少なくなり、よりスムーズに、待ち時間も短くなりました！

### 着替え・採血・血圧測定・身体測定をセンター内で実施

これまで病棟で行っていた着替えや採血なども「健診センター」で行えるようになりました。そのため、院内での移動が少なくなり、効率よく受診していただけます。

【ロッカールーム】



## 健診センター

072-422-5865 (代表)

健診日：月～金曜日

受付/電話 月～金曜 8:30～15:00  
窓口 月～金曜 8:30～17:00



【リカバリー室】

内視鏡検査で鎮静剤を使用した時など、ゆっくりとお休みいただけます。



【中待ち合い】



### ご希望により医師から検査結果を聞くことも可能

健診結果の報告は、郵送またはご来院（医師からの説明）を選んでいただけます。結果と共に注意点などもしっかり聞いて、生活改善につなげてください。



### エスコートスタッフの配置で安心してスムーズな受診

「健診センター」には専属のエスコートスタッフを配置。スムーズな受診ができるよう、受診される方のご案内を行っています。何でもお気軽にお声掛けください。



## ■ がんの早期発見を目的とした、充実のオプションメニュー

### ■ 組み合わせで、自分に合わせた健診メニューをセレクト

当院の人間ドックでは、がんや生活習慣病などのスクリーニングを目的とした健診【基本メニュー】に加え、がんの早期発見のための各種がん検診【オプションメニュー】をご用意。

【基本メニュー】と【オプションメニュー】を組み合わせることで、ご希望に合わせた「がん健診」を受けていただけます。

### 人間ドック基本メニュー

#### がん・生活習慣などのスクリーニング

上部消化管内視鏡（胃カメラ）検査を含む半日（午前）コース。



### 各種がん検診

#### 人間ドック オプションメニュー

基本メニューと組み合わせでの受診がおすすめです。オプションメニュー単独での検査も可能です。

- 男女共通**
  - 消化管オプション（4種）  
対象：胃がん・大腸がん
  - 肝臓オプション  
対象：肝臓がん
  - 肺オプション  
対象：肺がん
- 男性のみ**
  - 泌尿器オプション  
対象：前立腺がん
- 女性のみ**
  - 女性オプション（8種）  
対象：乳がん・婦人科がん（子宮がん・卵巣がん）

- 20歳以上 ※「乳がん検診」が乳腺エコー検査になります
- 40歳以上 ※「乳がん検診」がマンモグラフィ検査になります

その他ドック「脳ドック」「眼科ドック」などの他、各種健診や特定健康診査なども行っています。

※詳細はHPにて 市立貝塚病院 健診



健診センター

大阪府がん拠点病院として

# がんの早期発見・早期治療を

当院は、平成 23 年に【大阪府がん診療拠点病院】の指定を受け、「乳がん高度検診・治療センター」のリニューアルや「消化器・肝臓センター」の開設など、がん診療の充実をはかって来ました。

平成 25 年からは、人間ドックのオプションメニューとして『各種がん検診』を開始しています。早期発見・早期治療、そしてがん治療先進医療を取り入れるなど、地域のがん診療向上に取り組んでいます。

【大阪府がん拠点病院】とは？

「質の高いがん医療を受けることのできる医療機関」として大阪府が指定

わが国に多い5つのがん（肺がん・胃がん・肝がん・大腸がん・乳がん）の診療や化学療法、緩和ケア、病病連携・病診連携の協力体制など、診療機能に関する要件の他、診療従事者の配置や施設、年間入院がん患者数実績などの要件を満たした施設です。



## 『がん検診』の目的

### ①早期発見のためのスクリーニング

スクリーニングとは、ふるいにかけること。まだ症状がでていない段階で、がんの可能性を調べます。疑いがあれば、さらに精密検査で詳しく調べます。

### ②がんの前段階で治療しがんを予防

がんになる前段階のポリープや潰瘍などがあれば、これらの早期治療を行います。それにより、がんへの進行を食い止めることができます。

## 精密検査や治療が必要な場合も 安心の診療体制と実績

### 必要な検査や治療を迅速に始める

検診の結果により診療が必要な場合、健診担当医から直接予約を入れるなど、予約をスムーズに取ることができます。そのため、必要な検査や治療を迅速に始めることができます。

### 専門センターによる専門性の高い高度ながん診療

当院の「消化器・肝臓センター」「乳がん高度検診・治療センター」「婦人科腫瘍センター」は、専門スタッフが連携するセンターならではの診療体制で、検診（検査）から診断・治療まで、一貫した高度で専門的ながん診療を行っています。

### 院内病理診断で迅速な対応が可能

がんの診断・治療において、病理診断は重要な役割を担っています。当院には病理診断医が常勤しており、迅速な病理診断が可能です。

病理診断では、採取した細胞や組織から剥離した粘膜等を顕微鏡用のガラス標本にし、顕微鏡で観察。細胞の中から異型細胞（がん細胞）を探し分化度を見て診断します。



## 消化器・肝臓センター / 消化器外科

肝臓がん 胃がん 大腸がん

内科・外科の枠組みにとられない消化器疾患の総合診断と治療  
泉州地域に多い肝臓疾患の治療拠点としての役割を担う

- 胃・大腸・肝胆膵それぞれの専門分野の内科と外科の専門医・指導医が在籍し高い専門性を必要とする治療が可能
- 負担の少ない腹腔鏡下手術と機能温存手術を積極的に実施
- 低侵襲で負担の少ない高度な内科的治療を提供



Best Doctors 2016-2017  
センター長 山田 幸則

### がん検診 上部内視鏡検査（胃カメラ） / 下部内視鏡検査（大腸ファイバー）：

上部内視鏡は口または鼻から、下部内視鏡は肛門から内視鏡カメラを挿入し胃や大腸を内側から観察します。必要に応じて生検の組織を採取したり腫瘍の切除も行います。

腹部 CT・腫瘍マーカー（AFP）：腹部 CT は、肝臓がん、胆道がん、膵臓がんなどの悪性腫瘍の有無や進行具合を調べます。AFP は、肝臓がんで上昇が見られる腫瘍マーカーです。

ペプシノゲン・ヘリコバクター抗体・腫瘍マーカー（CEA・CA19-9）：全て血液検査で調べられる検査です。胃の粘膜の状態を知る「ペプシノゲン検査」とがんの原因となるピロリ菌感染の有無を調べる「ヘリコバクター抗体検査」、腫瘍マーカーで、胃がんの可能性と胃がんになる危険性を調べます。

腫瘍マーカー 体内に腫瘍ができると、腫瘍マーカーと呼ばれる特有の物質が現れます。これらの物質の量や種類を血液検査で調べ、腫瘍の存在を知る手がかりにします。腫瘍マーカーは、良性疾患でも基準値を越えることもあるため、CT やエコー・内視鏡などの検査と併用する、また経時的に観察することで有用なデータとなります。

## 婦人科腫瘍センター

子宮がん・卵巣がん手術件数：2016 年大阪府下第 6 位

子宮頸がん 子宮体がん 卵巣がん

### 全国でも実施施設の少ない高度な術式の手術を実施

- 低侵襲で負担の少ない高度な腹腔鏡下手術・腔式子宮全摘術の実施
- 排尿障害などの後遺症の軽減や妊孕性温存を可能にする最新の術式の実施
- 関西でも有数の婦人科がん治療数と実績



Best Doctors 2016-2017  
センター長 横井 猛

がん検診 子宮頸部細胞診：子宮の入り口の細胞をすり取り、顕微鏡で観察します。がんになる前段階の細胞の診断ができます。

婦人科エコー検査：経膈での超音波検査です。経腹に比べ腹壁の脂肪や筋肉などの妨げがないため、より鮮明に子宮や卵巣の状態を観察できます。

腫瘍マーカー（CA125・CEA・CA19-9）

## 乳がん高度検診・治療センター

乳がん手術件数：2016 年大阪府下第 10 位

乳がん

### 高性能な機器と高い撮影・読影技術による乳がん検診・検査で 南大阪地区の乳がん診療の中核的役割を担う

- 最新技術を駆使した「3D マンモグラフィ」による検診も可能
- 乳房温存手術やセンチネルリンパ節生検など低侵襲を目指した治療の実践
- 乳がんの手術と同時に乳房再建を行う一次再建が可能



Best Doctors 2016-2017  
名誉院長 稲治 英生

がん検診 マンモグラフィ：乳房専用のレントゲン撮影で、乳房を挟みながら圧迫して撮影します。特にごく小さながんの兆候（石灰化）の発見に効力を発揮します。

乳腺エコー検査：超音波診断装置で乳房の状態を調べます。X 線を使用せず痛みもありません。特に小さな腫瘍の発見と良性悪性の診断に効力を発揮します。

禁煙推進チーム 受動喫煙の防止と禁煙促進に向けて

「院内禁煙パトロール」実施中！

全面禁煙が病院や学校、官公庁や公共施設で随分と広がってきました。その背景には2003年に施行された《健康増進法の第25条》があります。この中で、「多数の者が利用する施設」での受動喫煙の防止が義務づけられたためです。当院でも、院内だけでなく敷地内禁煙を2011年から実施。皆様にご協力いただいています。更に昨年8月には、禁煙についての啓蒙活動を強化するため「禁煙推進チーム」を立ち上げ、12月からは「院内禁煙パトロール」も開始しました。

 **世界禁煙デー**  
5月31日

**禁煙週間（日本）**  
5月31日～6月6日

『院内禁煙パトロール』の活動

「院内禁煙パトロール」では、非喫煙者が受動喫煙による悪影響を受けない環境を作ること、そして、少しでも多くの喫煙者に禁煙に取り組んでいただくことを目的としています。実施は2ヶ月に1回程度で、病院敷地内を巡回しながら吸殻を収集したり、敷地内喫煙者への声掛けを行っています。



院長先生もトンクと袋を手に吸殻やゴミを集めます

禁煙相談 **無料**

慢性呼吸器疾患認定看護師が  
ご相談をお待ちしています  
【ご予約・お問い合わせ】  
地域医療連携室  
☎072-422-5865



自分自身のために、身近な人たちのために、そして同じ地域で暮らす人たちのために、  
禁煙と喫煙マナーをもう一度考えてみませんか？

「受動喫煙」とは

有害物質を含む副流煙と呼出煙（喫煙者が吐き出した煙）を吸い込むこと。自分の意思に関係なく強制的に喫煙させられている状態です。さらに問題となるのは、副流煙に含まれる有害物質の量！喫煙者本人が吸い込む主流煙に比べ、はるかに多いのです。



副流煙に含まれる有害物質  
(主流煙中の物質を1とした場合)

- ニトロソアミン（発がん物質） **52倍**
- アンモニア（目を刺激する） **46倍**
- 一酸化炭素（酸素不足を招く） **4.7倍**
- カドニウム（発ガン物質） **3.6倍**
- タール（ヤニ・発ガン物質） **3.4倍**
- ニコチン（血流を悪化） **2.8倍**

タバコは全身の病気のリスクを高めます

タバコは肺がんだけでなく、各種がん・脳卒中・心筋梗塞・動脈硬化・高血圧・糖尿病・胃潰瘍・肺炎・呼吸器疾患・うつ病・骨粗鬆症など全身の病気の他、妊娠・出産への悪影響や乳幼児突然死症候群の発症にも関連していることが分かっています。

また、2016年の厚生省研究班の報告では「受動喫煙で年間1.5万人死亡」との推計も出されています。

「屋外で吸うなら大丈夫」なんて思っていないませんか？

「受動喫煙の健康被害は知っているけど、それは換気の悪い室内の話でしょ」なんて思っていたら大きな勘違い。日本禁煙学会によると「ひとりの喫煙者によるタバコ煙の到達範囲は直径14mの円周内。複数の喫煙者が同時に喫煙する場合は、この直径が2～3倍以上となる」とのこと。煙の影響は、眼で見えるよりはるか遠くまで及んでいることとなります。建物の入り口付近で吸ったタバコの煙は容易に建物内に入ってしまう。また、敷地内ではなく周辺の道路などで吸った場合も、当院に通う患者さんやご家族が、知らないうちに副流煙を吸い込んでしまう可能性があります。特に身体が弱っている方や子供や妊婦（胎児）には大きな悪影響を及ぼしかねません。

■皮膚科 新任ドクターのご紹介

現代医学と東洋医学を併用することで、少しでも患者さんの力に 皮膚科医長 黄 昌弘

平成28年1月4日より市立貝塚病院の皮膚科医として着任しました。

皮膚は「人体最大の臓器」、「内臓の鏡」とも言われ、様々な原因が皮疹として現れます。しかし、皮膚科の治療薬は主にステロイド剤、抗アレルギー剤と種類は少ないのです。現代医学は素晴らしいのですが、人体に対して未解明な部分も多く、検査で何の異常がなくても苦痛を訴える症例を経験することは少なくありません。そこで私は漢方薬も使用しています。東洋医学は同じ疾患でも患者さんにより薬が異なり、その人に寄り添った治療法であると感じています。現代医学と東洋医学を併用することで、少しでも患者さんの力になればと思っています。

■第60回 市立貝塚病院 市民公開講座のお知らせ

平成29年  
5月24日  
(水)

【テーマ】健全な老後のために～上手な運動で認知症予防～

【日時】5月24日（水）13:30～15:00

【講師】理学療法士 出原 秀昭 糖尿病専門医 直 克則

【場所】市立貝塚病院 7階講義室 【費用】無料（定員70名 要予約）

【申込・お問い合わせ】地域医療連携室 ☎072-422-5865（内線：236）

※1階総合案内でも予約受付しております。

※FAX受付：072-439-6061（お名前・連絡先・申込する講座テーマ・日程を記入のうえ送信してください）

●手話通訳あり

動きやすい服装で  
ご参加ください



地域連携ニュース

■平成28年度 紹介件数のご報告

地域の医療機関の皆様から1年間で8,036件のご紹介をいただきました。ありがとうございました。

地域医療連携室は地域の医療機関等と密な連携を図り、機能分担を行いながら、患者様に満足いただける質の高い医療を提供することを目的としています。患者様にも医療機関の皆様にも、より信頼していただける市民病院となるよう努力してまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

科別	件数	科別	件数
内科	597	小児科	555
消化器内科	1,324	皮膚科	404
神経内科	178	泌尿器科	729
外科・消化器外科	295	産婦人科	1,254
乳腺外科	803	眼科	711
形成外科	269	耳鼻咽喉科	16
整形外科	466	放射線科	435

■第7回こすもす懇話会 参加のご案内

当院では、地域の医療環境の充実をめざし、市立貝塚病院と貝塚市医師会・歯科医師会・薬剤師会の先生方をはじめ、近隣地域の医療機関の方々との交流を深める機会として「こすもす懇話会」を毎年開催しております。是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

【日時】平成29年6月17日（土）16:00～18:00

【場所】コスモシアター中ホール（貝塚市畠中1丁目18-1 TEL. 072-436-5031）

【内容】一般講演：内科・消化器内科／乳腺外科／形成外科

特別講演：「放射線医学の原点と最近の進歩」

大阪大学医学部名誉教授 市立貝塚病院名誉総長 小塚 隆弘 先生

「最新の放射線治療について」

大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻医用物理学講座教授 小泉 雅彦 先生

【申込・お問い合わせ】地域医療連携室 ☎072-422-5865（内線：236）